

(総務委員会) 26年度事業計画

観光による地域の活性化を目指して、国、県、市および関係団体などとの連携を図り、下記について実施したい。

1. 協会事業全体に対する総合的な企画及び調整。
2. 国、県、市及び関係団体の事業への参加を通じて下呂温泉の情報発信と収集。
3. 広域観光の推進を目指して周辺地域、関係機関との連携。
4. 濃飛横断自動車道、リニアエクスプレス中央新幹線「中津川駅」からのアクセス整備。
5. 「MICE」(Meeting、Incentive、Convention、Event/Exhibition) による誘客促進。
6. 下呂温泉のランドマークとなる外湯施設などの建設推進。
7. 飛騨・美濃じまんキャンペーン、ウェルネスツーリズムなどとの連携。
8. インバウンド推進を図る岐阜県の空港整備やアクセス充実のための諸活動。
9. 温泉を活かした健康保養地づくりの促進。
10. 下呂交流会館コンベンション活用。
11. JR高山本線強化促進のための諸活動。
12. 下呂市並びに下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合等関係団体との連携の強化。
13. 県及び近隣観光協会及び商工会、市内観光協会連絡協議会など関係団体との連携。
14. 日本三名泉有馬・草津と韓国儒城との交流、情報交換。
15. 下呂温泉まつりの共催。
16. 市、市議会および行政機関、教育機関との意見交換会などの開催。
17. 日本文化の継承を図り、芸妓芸能の育成。
18. 防犯活動の推進。
19. 観光関係功労者、優良従業員の表彰。
20. 会費、負担金の検討。
21. 下呂市観光協会連絡協議会の事業。
22. 下呂温泉観光協会だよりの発行。
23. 会員の拡充を計る。

(誘致宣伝委員会) 26年事業計画

昨年度は伊勢神宮の式年遷宮、出雲大社の60年に一度の大遷宮、富士山のユネスコ世界文化遺産登録、東京ディズニーランド開園30周年など一部地域の観光地が注目される傾向の中、官民一体となって情報収集や分析等の戦略会議を重ね誘致事業を実施した結果、平成25年度宿泊合計で1,017,908人、前年比+2,632人100.3%増となり100万人を維持することが出来ました。

しかし、宿泊料金等の低価格化など取り巻く環境は厳しくまだまだ先行きの見えない状況は続いています。旅行ニーズの変化が速くその対応が重要であり、油断することがないようにしっかりとした誘致宣伝が必要であります。円安傾向により中部地区の自動車など輸出産業は景気回復の兆しが出ていますが、個人所得が上がるころまで来ていません。こうした中、岐阜県や下呂市・旅館組合・商工会・下呂交流会館・合掌村・コンベンションなどとの連携を強化し、キャラバンなどを中心に誘致に努めるとともに、着地型観光の造成などを促進して下呂市全体のPRおよび広域的な観点から、県内各地域のパンフレットを持参して誘致事業を展開致します。

1. 旅行形態についての分析、マーケティング
2. 全国各地へのキャラバンの実施
3. 中部運輸局・岐阜県・岐阜県観光連盟との連携
4. JR東海はじめ旅行業者との連携
5. 宣伝用印刷物・販促物の作成とマスメディアに対する広告出稿
6. インターネットによる情報発信事業
7. 下呂市、下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合、下呂市観光協会連絡協議会、下呂市観光客特別誘致対策協議会との連携
8. MICE(マイス)による観光客誘致の促進(交流会館、コンベンションビューローとの連携)
9. インバウンド事業の促進
10. ドライブ旅行の誘致対策
11. 着地型旅行商品の積極的な取り組み
12. 下呂温泉ふるさと観光大使に掛かる事業



企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、イベント、展示会・見本市(Event/Exhibition)の頭文字をとった造語である。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

(まちづくり委員会) 26年度事業計画

新しい時代の温泉地として、街並整備、名所作りは重要な要素の一つです。美しい街は訪れたお客様への最大の「おもてなし」と考えます。

行政、各種団体の連携を図り下記の事業を実施し、温泉地としての「魅力あるまちづくり」について推進していきたい。

1. 花木の植栽と定期的な管理
2. 飛騨川・国道41号線クリーン大作戦の実施
3. 四季を通しての名所作りの推進
4. 交流研修委員会との協力
5. まち歩きの推進

(交流研修委員会) 26年度事業計画

お越し頂いたお客様のご満足度を上げていくことが重要であると考えます。そこで、魅力ある温泉地づくり、街づくり等の為に研修事業を実施したい。

また、市内の観光資源(巖立峡・金山巨石群)をはじめ周辺観光地などお客様への細やかなご案内ができるよう、協会員(接客担当者)などを対象とした視察研修も実施したい。この視察事業については「まちづくり委員会」とともに連携して実施したい。

1. 温泉地づくり、街づくり等の研修を開催
2. 市内外の観光資源の視察などの「おもてなし研修会」の開催
3. インバンドなど国際交流事業の実施・日常会話等語学講習会の開催

(おもてなし委員会) 26年度事業計画

ホスピタリティ宣言をしている街として、下呂温泉を訪れる皆様に心からの「おもてなしの心で」お迎えをしたい。お客様目線にたった各イベントを通して大きく誘客に結びつけ、訪れて良かったと心から思われる下呂温泉にし、再度訪れたい地として飛躍を図りたい。その為に下記事業を展開する。

1. 下呂温泉いでゆ夜市

7月19, 26日, 8月4, 9, 16, 23日 (各土曜日、8/4のみ月曜日)

計6回開催予定

2. 歌塚供養祭 8月4日 (月)
3. 歌塚歌謡祭 8月4日 (月)
4. キャンドルイルミネーション 12月24日 (水)
5. 農林業との連携
6. JR東海「さわやかウォーキング」への協力
7. 各種アウトドアイベントへの協力
8. 温泉街の各種イベントへの協力

(青年部) 26年度事業計画

今年度は4月から消費税8%となり厳しいスタートとなりました。

また、旅館の耐震問題や消費税の増税など、この観光業界の問題は山積しております。このような時こそ私達青年部は、諸先輩方より様々な事を学び、勉強しなければなりません。

今後も北陸新幹線・中央リニア・東京オリンピックなど明るい話題はありますが、しかし今は先人が築き上げた「下呂温泉」を、今まで以上に知名度をあげ、郷土の観光資源を最大限に生かして、より良き町づくりをするために、積極的な活動をしていきたいと考えております。

私達青年部は、様々な業種の仲間がおります。様々な視点からの情報を交換し合い、少しでも地域の為に尽力できるよう、各諸団体とも連携を取りながら青年部活動に取り組んでいきましょう。

1. 下呂温泉観光協会の諸事業への協力
2. 下呂温泉への誘客キャラバン
3. 下呂温泉の街並み整備に関する調査研究
 - ・花木の植栽や消毒、肥料やり
4. 下呂温泉花火ミュージカル冬公演実行委員会への参画
5. 部員拡大